

東北応援ツアー 会津コース

【匿名希望】

「現地を訪問して想うこと」

私は東日本大震災の現状を職場の方の視察報告やマスコミの報道でしか知ることができませんでした。支援も募金を少しさせていただいた程度であった。また、実際に自分の目で見て何か支援できることがないのか、もし大阪でこのような災害が発生した場合にはどのような対処が必要なのかを少し考えていた。そんな矢先に校友会で東北応援ツアーを見て何気なく参加しました。

期待感は、被災地のインフラ復旧状況や今後の対応などのイメージを持っていました。今回は風評被害を勉強させていただいて、思ったより有意義の内容であった。風評被害といえば、関西では2009年の新型インフルエンザが神戸で発生し、その後収束したのもかわらず、神戸市の観光客が激減したことを思い出しました。対応としては、正確な情報で信頼されている機関（国・自治体など）が情報提供するしかないと思います。その発信方法も報道に取り上げられ、全国・全世界に発信する必要があると思います。報道はニュース性がない限りは取り上げてくれないので、イベント等で報道された際にその地域やその物産は安全性が高く、放射能は基準値以下でリスクがないことを情報発信すれば良いと思います。また、SNSを活用し口コミで情報発信することも必要だと思います。

私観ですが、会津の藩風に代表されるように忍耐強いので自分達で解決しようとされている方が多いように思いましたので、対応が遅い復興支援がある場合には国等の関係者に強く要求した方がよいのではと思いました。

復興支援は、雇用拡大のための地域活性化事業が必要であると思います。特に地域にお金がおちるしくみと産業創出などが考えられるが、前者は観光が思いつく。我々のツアーのように被災地に語り部とともに視察し、その災害後の知見を学んでもらう。対象は会社の事業継続担当者や自治体の防災担当者、学生の修学旅行にも最適のように思います。また、中国人の観光ゴールデンルート（成田空港から入国し、東京周辺の観光スポットを巡ってから、箱根、富士山、名古屋等を経由し関西を観光し、関西国際空港から帰国する）にも、雪の観光地・温泉・被災地視察を組み込むことができればと思います。素人がふと思ったことなので、あまり参考にはならないと思いますが。

また、個人的な支援として、周りの人に風評被害であることや日本酒などの特産品を紹介します。日本酒が好きなので、福島県の地酒を飲んで微力ながら支援したいと思います。最後になりましたが、現地でご案内・ご説明していただいた先輩、対応していただいた現地の方々に色々とお世話になり感謝しております。